

## 日清製粉グループ 連結決算、次期連結業績予想

### [2020年3月期連結決算]

売上高	7,121億80百万円（前期比126.0%）
営業利益	288億52百万円（前期比107.2%）
経常利益	314億34百万円（前期比98.0%）
親会社株主に帰属する 当期純利益	224億7百万円（前期比100.6%）

㈱日清製粉グループ本社（社長：見目 信樹）の2020年3月期につきましては、国内の景気が緩やかな回復基調にある中、年初以降、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、経済及び社会基盤は深刻かつ広範な影響を受けました。また、先行きの経済環境は、極めて不透明で予測困難な状況となっております。

このような中、当社グループは、社会的使命である小麦粉をはじめとする「食」の安定供給の確保に最優先で取り組み、また、その使命を支える従業員の安全確保に努めております。各事業におきましては、2020年度を最終年度とする中期経営計画「NNI-120 II」を通過点に、長期ビジョン「NNI “Compass for the Future” 新しいステージに向けて～総合力の発揮とモデルチェンジ」で描く目指す姿の実現に向け、更なる成長の基盤づくりを着実に進めております。その一環として、昨年4月に、豪州全土で小麦粉関連の事業を展開するAllied Pinnacle Pty Ltd.の買収を実施し、同7月に、総合中食サプライヤーであるトオカツフーズ株式会社を連結子会社化しました。その一方で、本年3月に連結子会社である日清ペットフード株式会社の事業をペットライン株式会社に譲渡しました。

当期の業績につきましては、売上高はAllied Pinnacle Pty Ltd.及びトオカツフーズ株式会社の新規連結効果により、7,121億80百万円（前期比126.0%）となりました。利益面では、米国製粉事業の収益悪化、M&Aに伴う統合関連費用、人件費、物流費等のコストアップがあったものの、新規連結を含む中食・惣菜事業、既存の医薬品原薬やエンジニアリング事業の好調、Allied Pinnacle Pty Ltd.買収に伴い前年に一時費用が発生した反動等により、営業利益は288億52百万円（前期比107.2%）となりました。なお、販売面では国内の消費が低調に推移する中、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、家庭用食品の販売が一部増加しました。また、厳しい競争環境にある米国製粉事業は、感染症の影響は不透明ですが、回復軌道への転換に目途が立ちつつあります。一方、経常利益はAllied Pinnacle Pty Ltd.における利息の負担を主因として314億34百万円（前期比98.0%）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、米国製粉事業の一時的な業績悪化を保守的に捉えた減損損失、また、トオカツフーズ株式会社の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益を計上したことを主因として、224億7百万円（前期比100.6%）となりました。

当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向の基準を40%以上とし連続増配により配当の上積みを図る基本方針のもと、当初の予想どおり、前期より2円増額の1株当たり年間34円としました。

## [2021年3月期連結業績予想]

新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の経済活動の停滞は一段と深刻さを増しており、2021年3月期においても先行き不透明感が強くなっております。また、外出自粛等による消費の低迷により、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

2021年3月期の業績見通しの前提としましては、新型コロナウイルス感染症の一時的な拡大と収束が年間を通じて繰り返されつつ、徐々に回復に向かうと想定しました。当社製品の需要も、経済活動の停滞及び再始動のサイクルの中で、中食や外食における食品消費の減少、設備工事の一時的な中断等の影響を受けることが考えられます。このような中、当社グループは、主要食糧等の安定供給という社会的使命かつ企業価値の源泉を堅持すべく、事業環境の変化に適合しつつ、長期ビジョン「NNI “Compass for the Future”」の実現に向けて引き続きグループ一丸となって取り組んでまいります。

以上の想定を踏まえ、業績見通しにつきましては、売上高は7,000億円（前期比98.3%）、営業利益は260億円（前期比90.1%）、経常利益は270億円（前期比85.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益は170億円（前期比75.9%）としております。

引き続き当社グループの事業への影響を慎重に見極め、今後修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

次期の配当につきましては、上記の利益配分の方針を基準とし、当期よりさらに1円増額の1株当たり年間35円を予定しております。これにより、実質的に8期連続の増配となる予定であります。

以 上